



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター  
電話：072-838-0400  
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents :

- ボランティア部会紹介  
桜校区ボランティア部会
- ボランティア活動調整報告
- やっぱり 講座はおもしろい



社協の担当者から説明を受けるお年より  
「ていねいに鍵預かりの処理をしていただいて、安心しました」と話していました。

- ☆ 鍵預かりを希望されるひとり暮らしの方に本事業の情報提供をお願いします。
- ☆ 詳しくは社協までお問い合わせ願います。

市社会福祉協議会は、4月より新規事業として、ひとり暮らし高齢者の自宅の鍵を預かり、緊急時の安否確認などに備えるための「かぎ預かり事業」をはじめました。

# 安心できる暮らしのために 「かぎ預かり事業」始動

## 高齢者緊急時

この事業は65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象として、利用するか否かの選択ができます。

また、預かった鍵は封入封印ののちに、居住地域内の協力福祉・医療施設で厳重に保管されます。

このサービスを希望したお年寄りには「親戚が遠いので、ひとりである自分に何かあったときのことを考えると、とても不安でしたが、

地域や施設の協力で厳重に保管してもらえたとの説明を受けて緊急時の心配が解消されました。

また、かぎのていねいな取り扱いに安心しました。担当の民生委員は「緊急時に鍵が開かなくて、窓ガラスを割ったケースも聞いています。お年よりも地域も安心できるこの制度はありがたいですね」と話していました。

## 「百楽の会」寄席へおいでやす

当センター登録団体の「百楽の会」が第2回アルカス寄席を下記のとおり開きます。代表の谷口さんは「場所は駅前です。散歩がてらに立ち寄ってください。そして素人の落語をお楽しみください」と話しています。

日時：12月1日(月) 13:00から  
場所：アルカスホール  
(寝屋川市駅東口徒歩3分)

- ◇入場無料
- ◇お問い合わせ：谷口 072-828-1819

# ボランティア部会紹介

## 交流会は大盛会 桜校区ボランティア部会

桜校区ボランティア部会は、谷垣茂美部会長を中心に14人の会員で活動中です。

同部会は、去る6月16日地区内のひとり暮らしの高齢者を対象に、池田旭町公民館で「友達の会」を開き、スタッフを含め参加者全員が歌や元気アップ体操などを楽しみながら、交流を深めたとのことでした。



部会長は「今回も、関係者を含め73人の参加があり、会場もいっぱいの大盛況。みなさんに楽しんでいただきました」と話していました。

交流会や活性化を目的に毎年春と秋に交流事業を開いているとのことでした。「友達の会」のようすをうかがいながら、今まで参加されていない人も、どんな足を運ばれたら良いのに、との思いを持ちました。

(川崎)

会場いっぱいみなさんが、歌や軽体操を楽しんだひととき

「みんなが集まっておしゃべりしたり、歌ったり・・・とても楽しませていただけました。」「いつまでも元気で足を運ばせたいものです」と、参加者の声

### NOA健康生活わやがわわわわわ

#### 【活動内容】

“元気都市寝屋川”の人づくり町づくりをよりどころに市民の心と体の健康づくりのため協働の活動を推進していく。

- ①寝屋川市の後援のもと「児童作品展」の開催支援。
- ②寝屋川市公園緑地課と連携し「エコフェスタ農業祭」に毎年出展参加。
- ③市役所及び教育委員会等の公共機関でのお花の活けこみボランティア。
- ④自然食や健康食を地域住民と共にセミナー形式で各校区で推進。

#### 【活動場所】

寝屋川市内、各校区コミュニティ、ボランティア宅

### ふるな

#### 【活動内容】

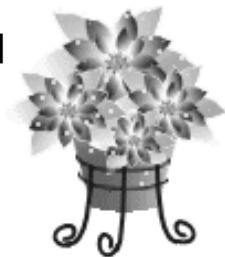
地域の活性化を願い、音楽祭（文化）イベントを通して有効と親睦をはかる。

- ①音楽、文化のイベント（民族音楽、クラシック、ジャズ、ブルース、映画音楽）
- ②模擬店（お化け屋敷、マルシェ、飲食店、フリーマーケット）

#### 【活動場所】

全国

## 新登録団体紹介



# あなたか思いにもったV活動

毎月、校区ボランティア・登録団体・個人登録ボランティアなど、たくさんの方が活動しています。今回は定期ボランティア活動も合わせて報告します。

## 定期ボランティア活動調整報告 (前期)

No	活動先	期間(4~9月)	対応(V・校区・団体)	人数
1	グリーンヒル淳風	週4回(月20回)	明和・東・個人	23
2	さくら草	月1回	西・成美	10
3	バリアフリー寝屋川	週1回(月4回)	桜・点野・田井・成美	42
4	カルデアの家	月1回	個人	6
5	グループホームここから高宮	週3回(月12回)	うきうきわくわく音心の会・個人	32
6	デイサービスりんく寝屋川	月1回	木田	18
7	神楽坂難病患者家族会「ひまわり会」	月1回	中央	6
8	ケアキューブ寝屋川駅前	月1回	個人	5
9	スペシャルオリンピックス日本・大阪	週1回(随時)	中央・国松緑丘・個人	24
10	小規模多機能いちよう園	週1回	明和・梅が丘・矢車草の会・うきうきわくわく音心の会	44
11	香西園	週1回	個人	10
12	上山病院デイケア	月1回	個人	4
13	デイサービスきぼう	月1回(月2回)	個人	6
14	Vセンター	隔月1回	個人	8
15	特養神田の里	月2回	14の耳	12
			延活動人数	250

## ボランティア活動調整報告



月	活動日	活動先 (施設・団体)	活動分野	活動内容	人数	対応 [ボランティア・校区・団体]
8	5	グレイス寝屋川	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座
	9	カルデアの家	高齢者	行事援助	5	梅が丘
	18・19・20・21	寝屋川石津園	高齢者	行事援助	18	田井・石津
	19	寝屋川の湯	高齢者	行事援助	5	河北民踊同好会
	21	あざみ保育所	保育	行事援助	1	個人
	23	池の里クラブ	児童	行事援助	12	成美・桜・池田・チャリティ かつ関西
	25	デイサービス寝屋川苑	高齢者	行事援助	6	栄光会
小計	10	7			51	
9	3・23	デイサービス寝屋川苑	高齢者	行事援助	16	ハーモニカ同好会・楠美会
	4・5・8・10	めぐみデイサービス	高齢者	行事援助	23	栄光会・美鈴会・ばらの会・河北民踊同好会
	8	太秦桜が丘交楽会	高齢者	行事援助	1	個人
	12・17・24・26	たんぽぽ保育所子育て支援センター	保育	行事援助	8	明和
	20	北校区福祉委員会	高齢者	行事援助	8	ハーモニカ同好会
	22	友呂岐中学校	生徒	教育援助	4	ほうれんそう
	25	グレイス寝屋川	高齢者	行事援助	14	ひまわり歌謡会
	25	国松緑丘小学校	児童	教育援助	2	ほうれんそう
	26	成美校区V部会	高齢者	行事援助	8	わくわく音楽隊
	28	たのしい家寝屋川	高齢者	行事援助	8	河北民踊同好会
	29	下神田 喜楽会	高齢者	行事援助	7	わくわく音楽隊
	30	第二中学校	生徒	教育援助	6	ほうれんそう
小計	19	12			105	
8月～ 9月 集計 活動日数29日 活動件数：19件 ボランティア数：156人						



# やっぱり、講座はおもしろい

9月27日、第五校区福祉委員会と当センター共催【きいてトクするボランティア講座～地域の見え方変わります☆オモシロメガネの使い方～】を東北コミュニティセンターで開きました。

「オモシロメガネの使い方」



講師は「あそびの工房もくもく屋」の田川雅規さん。まず、相手の心情や行動を意識的に観察して見ることや、視点を変えて発想を広げること、地域の見守り活動につながることを学び、次に、ボランティア活動は何気ない会話からでも

「楽しく多くを学びました」と。手遊び体験中の参加者。はじめられるというお話でした。参加者のこえ□■□  
○コミュニケーションをとり、脳を活性化することが大切。家から出て、人と会話をすることが大事。  
○講座に参加して、多くを

## ボランティアってなんやろね!

ボランティアを楽しむ  
コツがわかる入門講座

日時: 11月15日(土)  
10:00~12:00

場所: 市立保健福祉センター  
5階 会議室1・2

対象: ボランティアに関心のある人、活動を考えている人など

内容:  
第1部 ボランティアとは?  
講師 大阪教育大学  
准教授 新崎国広さん  
第2部 実践から学ぶ!  
パネリスト  
校区V部会員  
外出援助サービス運転V  
Vセンター相談員

～活動紹介と楽しく活動するコツについて活動実践者の話～

※問い合わせ、申し込みは当会事務局まで

V表記は=ボランティアのこと

感じる「ことができ、「おもしろさ」を実感しています。難波部会長は□■□  
「日常生活やいつもの活動、ちょっとした工夫で、おもしろ度が倍増。など変化のある切り口で「ボランティア」を見せてもらえました。めざすは、ちよっぴりおせっかいな『私のまちな物おじさん&おばさん』まずは出会った人に声をかける「あいさつリーダー」からはじめましょ!

## ボランティアを楽しむ コツがわかる入門講座



ボランティア活動の新たな担い手や若い担い手養成のための講座を、当センターと池田・桜岡校区のボランティア部会の共催で開催します。(詳細は左記)

近年、ボランティア部会員から「40代からはじめた活動も20余年過ぎ、高齢を痛感します。次代の担い手の養成が急がれます」。また「自分達の経験した活動の喜び。楽しさ、感動をひとりでも多くの人に味わってもらいたい。いつも、継承の方法を考えています。このような講座を待っていました。新たな活動者発掘のために」。などの思いが多く寄せられています。